

製品名: SUMO 結合酵素 UBC9 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03246**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.45mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 18 kDa; Observed MW: 18 kDa

抗原情報

遺伝子名	UBE2I
別名	UBE2I; UBC9; UBCE9; SUMO-conjugating enzyme UBC9; SUMO-protein ligase; Ubiquitin carrier protein 9; Ubiquitin carrier protein I; Ubiquitin-conjugating enzyme E2 I; Ubiquitin-protein ligase I; p18
遺伝子 ID	7329
SwissProt ID	P63279
免疫原	ヒト UBE2I/UBC9 の合成ペプチド

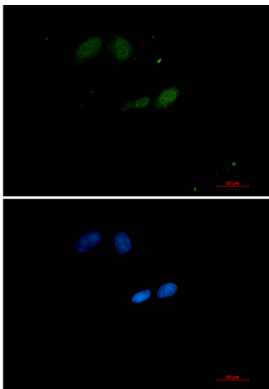
背景

SUMO-1の結合プロセスは、ユビキチンやその他の翻訳後タンパク質修飾に見られるものと類似しています。ユビキチンと同様に、SUMO-1はユビキチン結合酵素E1、E2、E3の協調的な作用によって標的タンパク質に結合されます。Ubc9（またはube2M）は、高度に保存された158アミノ酸からなるタンパク質で、SUMO-1結合酵素として機能します。Ubc9は、SUMO-1-CS（コンセンサス配列）ドメインを介して標的タンパク質に結合し、構造的に保存されたアミノ末端ドメインを介してSUMOと相互作用します。

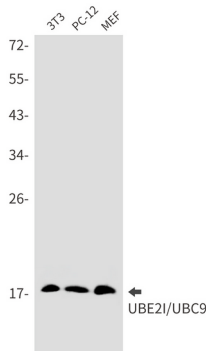
研究分野

細胞生物学

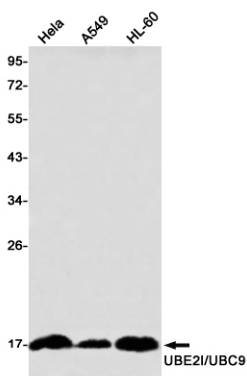
画像データ



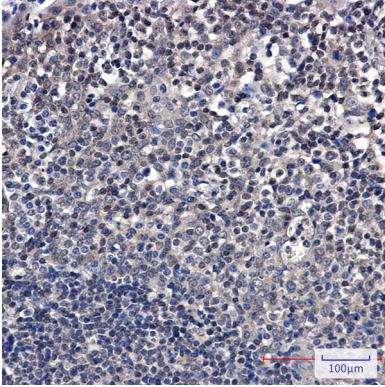
SUMO結合酵素 UBC9抗体と DAPI (青) を使用した、Hela 中の SUMO結合酵素 UBC9 (緑) の免疫細胞化学分析。



UBE2I/UBC9抗体を使用した3T3、PC-12、MEF溶解物中のUBE2I/UBC9のウェスタンブロット分析。



UBE2I/UBC9抗体を用いたHela、A549、HL-60ライセート中のUBE2I/UBC9のウェスタンブロット解析



UBE2I/Ubc9 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。